



## 1.物質の成り立ち

- (1) 19世紀のはじめにイギリスの科学者ドルトンが命名した、物質をつくっている最小の粒。
- (2) 原子は分けられるか。
- (3) 原子は、その種類ごとに質量が決まっているか。
- (4) 原子の規則性をもとにした表。
- (5) 1869年に(4)をみつけたロシアの科学者。
- (6) 水素の原子記号。
- (7) 炭素の原子記号。
- (8) 硝素の原子記号。
- (9) 酸素の原子記号。
- (10) ネオンの原子記号。
- (11) ナトリウムの原子記号。
- (12) マグネシウムの原子記号。
- (13) アルミニウムの原子記号。
- (14) 硫黄の原子記号。
- (15) 塩素の原子記号。
- (16) アルゴンの原子記号。
- (17) カリウムの原子記号。
- (18) カルシウムの原子記号。
- (19) 鉄の原子記号。
- (20) 銅の原子記号。
- (21) 亜鉛の原子記号。
- (22) 銀の原子記号。
- (23) 金の原子記号。
- (24) 物質の性質を示す最小の粒。
- (25) 原子を表す記号を組み合わせることによって、物質を表す記号。
- (26) 酸素分子の化学式。
- (27) 水素分子の化学式。
- (28) 水の化学式。
- (29) 二酸化炭素の化学式。
- (30) 塩化ナトリウムの化学式。
- (31) アンモニアの化学式。
- (32) 1種類の原子からできている物質。
- (33) 2種類以上の原子からできている物質。
- (34) 化学変化のようすを化学式を用いて表した式。
- (35) 水が分解して水素と酸素になる化学反応式。
- (36) 酸化銀が分解して銀と酸素になる化学反応式。
- (37) 炭酸水素ナトリウムを熱分解したときの化学反応式。

1 物質をつくるもの

2 化学反応式

日付

1回目

日付

2回目

日付

3回目